

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 8 月 15 日 (2013.8.15)

【公開番号】特開 2012-234014 (P2012-234014A)
 【公開日】平成 24 年 11 月 29 日 (2012.11.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-050
 【出願番号】特願 2011-101807 (P2011-101807)
 【国際特許分類】

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/13 1 0 1

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 7 月 1 日 (2013.7.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

剥離フィルムを備えた積層フィルムから、剥離フィルムを剥離するナイフエッジにおいて、

搬送されている積層フィルムのうち剥離フィルムが押圧される押圧面と、

上記押圧面に繋がる先端部とを備え、

上記先端部において、上記押圧面から先端部に向かう方向に対して平行に、少なくとも 2 つの凹部が形成されており、

上記 2 つの凹部に、上記剥離フィルムの流れ方向に沿った剥離フィルムの両端面が配置されることを特徴とするナイフエッジ。

【請求項 2】

上記先端部において、上記方向に対して平行に、凹部が 3 つ以上形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のナイフエッジ。

【請求項 3】

上記押圧面において、上記方向に対して平行に、凹部が形成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のナイフエッジ。

【請求項 4】

上記先端部において、上記凹部と繋がる開口部が形成されており、

上記開口部に、異物を吸引する吸引機構を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載のナイフエッジ。

【請求項 5】

上記先端部が円弧形状を有しており、

上記方向は、上記押圧面から先端部の円弧形状の部分へ向かっていることを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載のナイフエッジ。

【請求項 6】

液晶パネルに偏光フィルムを貼合する液晶表示装置の製造システムにおいて、

液晶パネルを搬送する液晶パネル搬送部と、液晶パネルの搬送方向へ剥離フィルムを備えた積層フィルムを巻き出す巻出部とを含む貼合機構を備え、

上記貼合機構は、請求項 1 ～ 5 の何れか 1 項に記載のナイフエッジを含むことを特徴とする液晶表示装置の製造システム。

【請求項 7】

上記剥離フィルムの流れ方向に沿った剥離フィルムの両端面が上記 2 つの凹部を通るように調整する位置調整装置を備えることを特徴とする請求項 6 に記載の液晶表示装置の製造システム。